

## 問 公共トイレ蛇口の 自動水栓化を

### 答 耐用年数を前提に前向きに検討

**問** 阿漕ヶ浦公園トイレ手洗い場の蛇口は自動水栓式で、最近作った大型遊具脇の休憩室トイレと多目的トイレは接触式である。また、東海駅東第4公園トイレ手洗い場の蛇口はプッシュ式で、その脇の多目的トイレは自動水栓式である。最近作ったトイレでも蛇口の形態が異なっている。新しく作るトイレを単に自動水栓化しているのではないようだ。どんな基準で蛇口を選択しているのか。その上で、非接触式の自動水栓は、ウイルス感染



公明党  
おがき さとる 議員  
岡崎 悟



公共施設の上下式蛇口

予防対策や節水に有効と考える。本村の考えは。  
**答** 都市公園15か所のうち6か所にトイレが設置されており、その内3か所を自動水栓化している。蛇口選択の根拠としては、建築上の明確な基準等は無く、公園の規模や建築当時の財政状況から慎重に選択してきた。自動水栓化は、感染症予防対策や節水に寄与することから既存施設の適正な維持管理を大前提に、耐用年数を迎えた施設については前向きに検討していく。

## 問 東海駅東口の 再整備の計画は

### 答 ニーズを捉え丁寧に進めていく

**問** 東海駅東口については、どのような計画でいつまでに再整備するのか。どこをどのように変更するのか、状況を伺う。  
**答** 現在、整備計画の策定に向けて鋭意検討を進めている。半導体不足や物価高騰などの新たな課題に対しさまざまな見極めが必要な状況となっている。日々変化するニーズを捉え、真に必要なものは何なのか、改めて考えを整理する必要性を感じている。駅を拠点としたまちづくりにおいても駅前広場の役割は重要。



新政とうかい  
ますい ふみお 議員  
舛井 文夫



駅前広場の様子 (R4.12.15 現在)

今後は、役場内部だけでなく、広く村民の意見を確認するため、アンケートを行うなど丁寧に再整備プランの策定を進めていく。  
**問** 東口は、イオンを始めとしてさまざまな商業施設ができており、東海村の玄関口である。抜本的に考えを変えて、面積の決まっている駅前広場では水戸駅南口のようにペDESTリアンデッキを設置して空間を活用すべき。  
**答** 具体的に答える段階ではないが何が必要なのか、広く村民の意見を確認し進めていく。